

なぜ、腎臓病患者の食事指導のやり方に自信が持てないのか・・・

なぜ、食事指導の効果が上がらないのか・・・

なぜ、栄養士によって指導効果に違いが生じるのか・・・

そんな問題解決につながる！

**明日からすぐに役立つ**

**腎臓病の食事療法—指導法習得実践講座**

**開講のお知らせ！！**

患者さんの興味とやる気を引き出し、

効果が高まる食事指導をめざす超実践講座

**講師：** 出浦照國（昭和大学藤が丘病院腎臓内科）

菅野丈夫（昭和大学病院栄養科）

**プランナー：** 吉村吾志夫（昭和大学藤が丘病院腎臓内科）

**運営：** ライフカルテ URL: <http://lifekarte.blog.fc2.com/>

**【日時】** 平成27年2月8日(日)・3月8日(日) 全2日間の講座  
各10:00~16:00（昼食休憩1時間）

**【会場】** 中央労働基準協会 4階ホール  
〒102-0084 東京都千代田区二番町九番地八

**【受講料】** 全2回：28,000円（14,000円x2回 税込、テキスト代含む）  
全2回講座ですが、1回のみ受講の場合：16,000円  
（税込 テキスト代含む）テキストは各当日に配布致します。

申込方法や講座の詳細はライフカルテのご案内ページ URL: <http://lifekarte.blog.fc2.com/> を  
ご覧頂くか、お電話でお問い合わせ下さい。TEL：080-9176-0744

より良い生活づくりをサポートする

ライフカルテ

# 講座内容

## 腎臓病の食事療法—指導法習得実践講座・開講にあたって

近年、世界的に末期腎不全による透析患者が増加しています。

日本においても成人人口の約13%、1,330万人が慢性腎臓病(CKD)患者であり、CKDはまさに国民病といえます。CKDは透析患者の増加に伴う医療費の増大に加え、心血管疾患のリスクも高くなることから、その進行を食い止めることは非常に重要です。

CKDの治療として内科的な薬物療法に加えて食事療法が強力な治療法となりえることから、医師による適切な指導下における管理栄養士による適切な食事指導はきわめて重要です。しかし、食事指導の効果が上がらないことが、しばしばみられます。患者さんに聞いてみても、「わかりにくい」、「指導を受けても食事療法を全く実践できない」という感想を述べる方が多いのは事実です。また、指導する栄養士によって治療効果に大きな違いが生じ、効果の上がらない患者さんは早晚、食事療法から離れていってしまっています。これは医師の指導にも問題がありますが、管理栄養士の指導法も適切でないと考えられます。1日3度の食事は、まさに生活そのものです。健康な家族と異なる食事を作り、食することは容易ではありません。患者さんが興味を持ち、やる気を持ち、効果が得られるような食事療法を実践するには、栄養士としてどのような指導をすべきなのでしょう？自己流でない、明日からすぐに役立つ食事指導の方法を習得していただきたく、本講座を開講致します。

教科書的ではなく臨床現場で役立つ、その時に絶対に知っておかねばならない検査所見の読み方・考え方も食事指導法とともに習得していただきます。

### 【プログラム】 —2/8, 3/8の全2回講座—

〈2月8日〉

**食事指導に際して絶対に必要な検査の知識① (出浦) 尿所見と貧血**

**すぐに役立つ慢性腎臓病患者の食事指導法の習得① (菅野・吉村)**

〈3月8日〉

**食事指導に際して絶対に必要な検査の知識② (出浦) 腎機能と電解質**

**すぐに役立つ慢性腎臓病患者の食事指導法の習得② (菅野・吉村)**

※内容は変更、追加される場合もあります。